

科目名	英語 I A English I A			担当教員	宇野 光範 / 藤原 知予 鳥越 洋子 / ジュリアン・セイント 窓口教員 (セイント先生：藤原、鳥越先生：新任教員)		
学年	1年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	4
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	12120009	単位区分	履修単位
学習目標	読む、書く、聞く、話す、の英語の4技能の全体的な向上を目指し、基本的なコミュニケーション能力の育成を図る。これらの技能の養成の基礎として、基本的な文法や語彙の知識が必要とされるので、語彙や英文法の知識の修得も図る。						
進め方	英語 I A (総合英語) : リスニングから読み物を導入し、英語を使用して質疑応答することにより内容把握させる。定期的に小テストを実施し、学習内容を定着させる。また、本文中の進出文法事項も理解し使用できるよう、反復練習を行なう。ペアワークを多く取り入れ、英語でコミュニケーションをとる機会を与える。 英語 I A(L&S) : 小人数クラスのメリットを生かし、ペアワークやグループワークを通じて英語で自己表現する機会をできるだけ与える。出席番号前半の者は前期鳥越、後期セイントが担当し、後半の者はその反対の順になる。以下の学習項目では出席番号前半用のもので、後半の者は前期後期が逆転する。試験は各期末に実施する。						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	English I : (1) オリエンテーション・辞書指導(3) (2) 文法基礎指導(4) (3) Lesson 1 High School Life around the World(7) (4) Lesson 2 You Can Change the World!(7) English I (L&S) : (1) オリエンテーション・Commuting to School(2) (2) Using the Phone(1) (3) The School Festival(1) (4) Recycling and the Environment(1) (5) Driving and Directions(1) (6) Using Computers and E-mail(1) (7) Doing Volunteer Work(1)			English I : ・電子辞書を使うことができる。 ・基本的な英語の文型が理解できる。・受け身の基本的な用法が理解でき、使用できる。 ・不定詞、および動名詞の用法が理解できる。 ・現在完了の基本的構造、用法が理解できる。 ・英語による指示が日本語を介さずとも何とか理解できる。 English I (L&S) : ・身近な話題についての大きな聞き取りができる。 学習・教育目標 : (D)			
	[前期中間試験](1)						
	English I : (5) 中間試験返却(1) (6) Lesson 3 Meister Kanda (10) (7) Lesson 4 Two Is Company (12) English I (L&S) : (1) Talking about the Weather(1) (2) Listening Review 1 & Tale Off to Sydney(1) (3) Weekend Plans(1) (4) Shopping(1) (5) Visiting the Doctor(1) (6) Hobbies(1) (7) Superstitions(1)			English I : ・関係代名詞を用いた基本的な用法が理解でき、使用できる。 ・SVOO の構文が理解できる。 ・SVOC の構文が理解でき、簡単な文を作成できる。 ・受け身の基本的な用法が理解でき、使用できる。 English I (L&S) : ・身近な話題についての聞き取りができる。 ・与えられたテーマに沿ったグループやペア単位でのコミュニケーション活動において、英語による自己表現ができる。 学習・教育目標 : (D)			
	前期末試験						
English I : (1) Lesson 5 Man's Best Friend (10) (2) Lesson 6 The Future Is in Your Hands...Or Is It?(11) English I (L&S) : (1) Unit 1 Are you in this class?(2) (2) Unit 2 There's a downstairs!(2) (3) Unit 3 For computer questions, press one now.(2) (4) Unit 4 What's Bob doing?(2)			・過去完了の基本的構造、用法が理解できる。 ・助動詞+受け身の基本的構造、用法が理解できる。 ・前置詞+関係代名詞の基本的構造、用法が理解できる。 ・英語による質問が聞き取れ、それに対する自分の意見が何とか英語で表現できる。 English I (L&S) : ・How to make informal introductions, etc. ・How to identify yourself on the phone/ ask how someone is, etc. ・How to suggest an activity/ an alternative, etc. ・How to talk about actions in progress, etc.				
[後期中間試験](1)			学習・教育目標 : (D)				

	<p>English I :</p> <p>(3)後期中間試験返却(1) (4)Lesson 7 Let's Have Rights (11) (5)Lesson 8 Japan's Goodwill Ambassadors to the World (11)</p> <p>English I (L&S) :</p> <p>(5) Unit 5 You lose it. We find it. (2) (6) Reviews, Self Test and Extra Practice (1) (7) Unit 6 We're going to win. (2) (8) Unit 7 Can you Dance? (2)</p>	<p>English I :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮定法過去について理解できる。 ・ 関係副詞の使い方が理解でき、使用できる。 ・ 関係代名詞の非制限用法の使い方が理解でき、使用できる。 <p>English I (L&S) :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ How to talk about habitual activities, etc. ・ How to make an appointment, etc. ・ How to express obligations/regrets, etc.
	後期末試験	学習・教育目標：(D)
	試験返却(1)	
評価方法	<p>英語 IA (総合英語) (75%分) と英語 IA(L&S) (25%分) とを総合して評価する。</p> <p>英語 IA (総合英語) :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験を 60%, その他を 40% (取り組み態度, 提出物, 小テスト, 単語テスト, 等) として評価する。 <p>英語 IA(L&S) :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業活動への参加状況や提出物を 50%, リスニングテストや定期試験を 50%として評価する。 	
履修要件	特になし	
関連科目	英語 I A → 英語 II A	
教材	<p>English IA: PROMINENCE English I (東京書籍), Workbook, コーパス 3000 (東京書籍), 電子辞書 L&S: True Colors 1 (Longman) [セイント], ORAL COMMUNICATION Revised EXPRESSWAYS I Advanced Edition (開隆堂) [鳥越]</p>	
備考	電子辞書は、英和として「ジーニアス」が、和英として「プログレッシブ」または「ジーニアス」がコンテンツとして入っているものを各自用意すること。	